

NPO法人事務力セミナーの開催事業

補助予定額
47,990円

補助事業の背景と目的

平成21年度NPO・ボランティア団体を対象に奈良県が実施した調査によれば、活動の問題点・課題等を解決するために必要なことの1・2位が「寄付や資金援助等の支援が受けられること」「活動に対する社会的認知・信用を得ること」と全体の30%が回答しています。適切な団体運営、財務処理、行政手続きを行う「NPO事務力」を担保することは、団体の透明性と信頼が高まり、寄附金や助成金獲得へとつながります。

補助事業の実施内容

岡山NPOセンターが主催する「NPO事務会計セミナー（入門手続き編）」及び「NPO法人事務力検定（初級）」を、奈良県で初めて開催しました。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

・セミナーの定員30名のところ、31名に受講いただきました。また、検定に27名、懇親会に16名がご参加いただくなど、NPO事務会計への関心の高さを改めて窺えました。この活動に興味を持たれる方の中には、会計事務所にお勤めの方やプロボノ活動を意識されている「経理の分かる方」もおられます。引き続き、ネットワークを保ち、勉強会や交流会を続けて開催する必要性と可能性を強く感じました。

・奈良市との連携により広報協力が得られる利点を活かして、「チラシを作らない」方針で広報をしました。SNSを活用した広報もうまく働き、広報費や郵送費等

を大きく削減、結果として、総事業費が10万円を下回りました。この助成事業は、総事業費の1/2助成の事業で、自己負担金が必要です。例えば、企画した事業が中止になったり参加者が振るわなかったりして収入減となった等の際の自己負担増加のリスクも少なく事業を実施することができました。

・京都の中間支援団体と連携したり、「寄付月間2016公式認定企画」に認定いただいたりするなど、県外の主要団体と連携して事業を進めました。近畿圏のNPO支援ネットワークの中で、奈良県のNPO支援を考えることの大切さと心強さ、寄附文化が高まる世の中の潮流を感じながら、寄附先として選ばれる最低条件としての団体の事務会計の基盤を固める上でのNPO事務会計の大切さとやりがいを感じました。



検定試験の様子▶

参加者からの

ひとこと

ある参加者からの「団体内の経理担当だが、みんな任せっきり。団体外にも相談に行くところがない。行政からは怒られるばかり」との感想がとても印象的でした。参加者の皆さん、NPO事務会計の身近な相談場所を求めておられます。活動の継続と広がり的重要性を感じます。



◀セミナーの様子

団体名 特定非営利活動法人 ぷろぼの

事業の活動地域 奈良市

所在地 奈良市
<http://probono.vport.org>

活動テーマ ⑮

【団体の設立経緯・目的】

障がいのある方が地域で自立した生活を過ごすための支援を行う。

【団体の主な活動の内容】

障がいのある方の就労支援事業、奈良を元気にする事業

活動の様子
(ぷろぼの)

